

## 川島町地域防災計画（改訂素案）に対する 意見の概要と町の考え方

提出者数 1名

提出件数 1件（電子メール）

### 提出案件内容

消防団の所属団員の構成については、20代、30代の比率が少なく、このままだと近い将来消防団そのものの存続が危ういのではないかと感じます。

また、20代、30代の人でも町役場職員の方の比率が多いように感じます。いざ災害が発生した時に役場の方は役場の業務が入ると思うので、いざという時に人が足りなくなり消防団として機能しないように感じます。

町として現状、各分団の人数、年代ごとの構成比、役場の方の割合を把握しているようであれば教えて頂きたいです。

最後に、どこの消防団も年々人が減っている、ということを知っています。町として入団を呼びかけるような取り組みはできないでしょうか？少しでも多くの取り組みをしていただきたいです。

### 提案案件に関する町の考え方

川島町消防団の団員構成については、平成28年2月1日現在で、団本部が15名、第1分団が17名、その他、第2分団から第6分団までがそれぞれ19名の合計127名で構成されています。定員数との比較をしますと、第1分団が定員19名に対して2名不足していますが、他の分団、団本部については定員数に対し、同数となっています。

また、年代ごとの構成比では、40歳代が一番多く51.2%であり、次いで30歳代が28.3%、20歳代については15.7%となっています。団員のうち、町役場職員は21名であり、全団員からの割合としては16.5%となっています。

消防団事務については、消防署に事務局を務めていただき、消防団員の加入促進についても、川越地区消防局ホームページへの掲載、火災予防運動の際や町イベント開催時に実施いただいております。町としても、町広報誌への掲載や町ホームページへ消防組合ホームページのリンク貼付など対応しています。